

# UCS の最初の調査のデータを収集して要求を保守して下さい

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[時もしデータが収集されれば](#)

[どんなデータが収集する必要があるか](#)

[どんなテクニカルサポートが組み込むか集める必要があります](#)

[UCS B シリーズおよび S シリーズ \( 統合 \)](#)

[UCS HX シリーズか C シリーズ \( 統合 \)](#)

[UCS C シリーズ \( スタンドアロン \) または UCS S シリーズ \( スタンドアロン \)](#)

[オペレーティング システム テクニカルサポート データ](#)

[VMware ESXi](#)

[Red Hat Linux は製品を基づかせていました](#)

[SUSE Linux は製品を基づかせていました](#)

[Microsoft Windows](#)

[UCS テクニカルサポートを集めるとき他の考慮事項は組み込みます](#)

## 概要

このドキュメントでは、UCS 関連のサービス要求の調査のために Cisco TAC が要求する共通データを示します。

サービス リクエストに大幅にそのようなデータの接続問題の最初の識別のためにかかった時間を開くとき減らすことができます

問題の時に集められるデータの欠如は提供することができる個別の問題点がなぜの発生したか Cisco TAC が限定的な説明をように不可能にするかもしれません

## 前提条件

この資料は必須テクニカルサポート バンドルを生成する適切な UCS GUI/CLI への *admin* 水平なアクセスがあることを仮定します

## 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

Cisco Unified Computing System ( UCS ) マネージャ Command Line Interface ( CLI )

Cisco Integrated Management Controller ( CIMC )

## 時もしデータが収集されれば

Cisco は一般に TAC は約束望まれる/要求されるかもしれないことを疑われるとすぐ関連データを生成するために助言します。

これはもはや一般的に見られるファブリック Interconnects のリポートがどこに行われたか含まれているより大きいですか急速に変化する 環境の対象の時を、カバーする重要なログ ファイルを避けることではないです

を探します。

であるので、必要となる UCSM テクニカルサポートがシャーシか他のテクニカルサポート ファイル前に生成される複数のテクニカルサポートの場合には Cisco TAC が一般的に助言します重要な生成するべきほとんどの時間はおよび最も時間のかかりますまた。

既知 ソフトの欠陥が開いたサービス要求によるある特定の UCS テクニカルサポートを提供できなければ場合 Cisco TAC に助言して下さい。

## どんなデータが収集する必要があるか

テクニカルサポート以外、下記のものを含むかもしれない集める必要がある問題についての重大なデータ組み込みます:

- 問題の日付/時間
- 影響を受けたサーバかサービス プロファイル
- 問題の時に見られるエラー PSOD/BSOD/Kernel パニック画面の特にスクリーン ショット
- どの変更でもその時にまたは最近の過去に実行しました
- 問題を解決するか、またはサービスを回復どんな操作が、もしあれば、実行されたか
- OS 型およびバージョン
- VIC ドライバ バージョンすなわち ENIC/NENIC/FNIC バージョン
- RAID コントローラ ドライバ バージョン
- 使用中の追加 HBA/NIC のドライバ
- あらゆる疑われたトリガーの情報は負荷、毎夜のバックアップ/メンテナンス タスク先祖などのような調節します
- アップストリーム イーサネットまたは SAN のようなトポロジーの基本的な概観は、切り替えましたり、Storage Array 先祖など
- 問題の時のまわりに UCS Manager で表示されるコア ファイルをアップロードして下さいただし、またである状況の重要な要因含まれます信じる他のデータ

## どんなテクニカルサポートが組み込むか集める必要があります

通常 Cisco TAC は開始点として次のテクニカルサポート バンドルを要求します:

UCS B シリーズおよび S シリーズ ( 統合 )

UCSM テクニカルサポート

影響を受けたサーバをカバーするシャーシ テクニカルサポート。

## UCS HX シリーズか Cシリーズ ( 統合 )

UCSM テクニカルサポート

影響を受けたサーバをカバーする FEX テクニカルサポート ( 該当する場合 )

ラック サーバ テクニカルサポート

## UCS Cシリーズ ( スタンドアロン ) または UCS S シリーズ ( スタンドアロン )

CIMC テクニカルサポート

同じようでしかし変化しないサーバからのテクニカルサポートを提供することはまた役立つかもしれませんが

## オペレーティング システム テクニカルサポート データ

OS テクニカルサポート データは相互運用性の問題の場合には Cisco TAC 分析に役立つかもしれないことを信じる状況では以下は開始点として提供することができます:

### VMware ESXi

vm サポート

Red Hat Linux は製品を基づかせていました

sosreport

SUSE Linux は製品を基づかせていました

supportconfig

### Microsoft Windows

アプリケーションおよびシステムイベントは evt または evtx ファイル形式をログオンします

「systeminfo」の出力が類似した

## UCS テクニカルサポートを集めるとき他の考慮事項は組み込みます

可能な限り単一より大きいファイルに複数のテクニカルサポート バンドルを結合しないで下さい

UCS テクニカルサポートは最終的なファイルの .tar 拡張にもかかわらず既に広く、圧縮されます

。

ただし、他の大きいデータファイルが圧縮されていなければ、標準形式 ( zip/gz/bz2/7z 等 ) を使用して圧縮は推奨されません。

明示的に指示されるまたは絶対に必須、「UCSM テクニカルサポート バンドルよりもむしろテクニカルサポート ファイルまたは供給 ucsm-mgmt の Exclude コマンドのオプションの使用状況を十分に避けてはいけません

ブレードかラック サーバが PSOD/BSOD/Kernel パニックを経験する場合、UCSM/CIMC または KVM のリセット オプションを使用してサーバを、シャットダウンしませんそれからサーバのブートをリポートして下さい。

これはサーバをシャットダウンすることがこのデータを失います一方、追加情報をテクニカルサポート バンドルに含まれているトラブルシューティングのために生成します。